令和５年度

ビジネス入門

11　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
選択	４	１２	１２	２

準教科書	副教材・資料
ビジネス基礎 （東京法令出版）	高校生のための進路プラン四訂版（実教出版） 大人への道しるべ - 大人になるまでに知っておきたい12のこと -（法務省）

学　習　目　標

ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展担う職業人として必要な資質・能力を科目の内容により育成することを目指す。

１　ビジネス実務について体系的・系統的に理解するとともにビジネスマナーなどビジネスに関連する技術を身に付けるようにする。

２　ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養う。

３　ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

学　習　内　容

（１）商業の学習とビジネス　（第１回レポート）
（２）ビジネスマナー　（第１回，第２回レポート）
（３）経済と流通　（第３・４回レポート）
（４）ビジネスの諸活動　（第５回，第６回レポート）
＜前期試験範囲＞

（５）企業活動と地域　（第９・10回，第11回，第12回レポート）
（６）売買取引の方法　（第７回，第８回レポート）
＜後期試験範囲＞

学　習　方　法

・レポート

前期は，ビジネスにおけるマナーや経済流通のしくみを学び，就職活動に必要な基礎知識を身につけます。後期は，企業の形態や企業活動にかかわる税，ビジネス計算を学び，就職後にも役立つ分野を取り上げます。

レポートの問題は，準教科書、副教材や資料の内容から出題します。出題する範囲が指定されていますので，その部分をよく読んで，理解したうえで解答してください。レポートを解きながら，今まで知らなかったようなビジネスの基礎を学習し，覚えていくことが大切です。

・授　業

授業では基本的にレポートの解説をしますが，実際に動いてマナーを体得したり，ビジネス計算を練習したりします。授業を受ける前にレポートの問題をやっておき，授業の中で復習することをおすすめします。

・放送視聴

指定されている題名の放送を視聴し，放送内容をまとめ，自分の感想を書いて提出してください。用紙の欄が足りない場合は，裏面も使って記入してください。

・試　験

試験には，レポートの学習内容を確認する問題を出します。レポートを再度見直し，間違えたところをよく確認して，試験に臨んでください。レポートの解答だけを覚えてきても試験問題は解けません。

評価規準と評価方法

（１）レポートの評価　（２）授業の出席状況　（３）試験の成績などを総合して評価します。
レポート、定期考査の評価は次の観点で行います。

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネス実務について体系的・系統的に理解している。また，ビジネスマナーなどビジネスに関する技術を身に付けている。	ビジネスの関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力が養われている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協働的に取り組もうとしている。

担当者より一言

社会に出てからの基本的な常識を一年間で学びます。レポートを解きながら，経済社会の仕組みついての知識やビジネスマナーを身につけるつもりで，じっくりと取り組んで，職業選択や資格取得に臨んでください。